

説明する一冊

図
と
表
と
会話文で

苦手な人に
中国の地誌が

高校地理B 中国の地誌

中国の地誌①

地形と社会

1

西高東低の地形 －内陸と沿岸部－

西部：ゴビ砂漠、タクラマカン砂漠、チベット高原、テンシャン山脈

東部：トンペイ平原、華北平原、黄河、長江、東部沿岸に集中する人口

2

社会主義国家 －中華人民共和国－

1949年 中華人民共和国建国。 計画経済を中心とした国家統制。

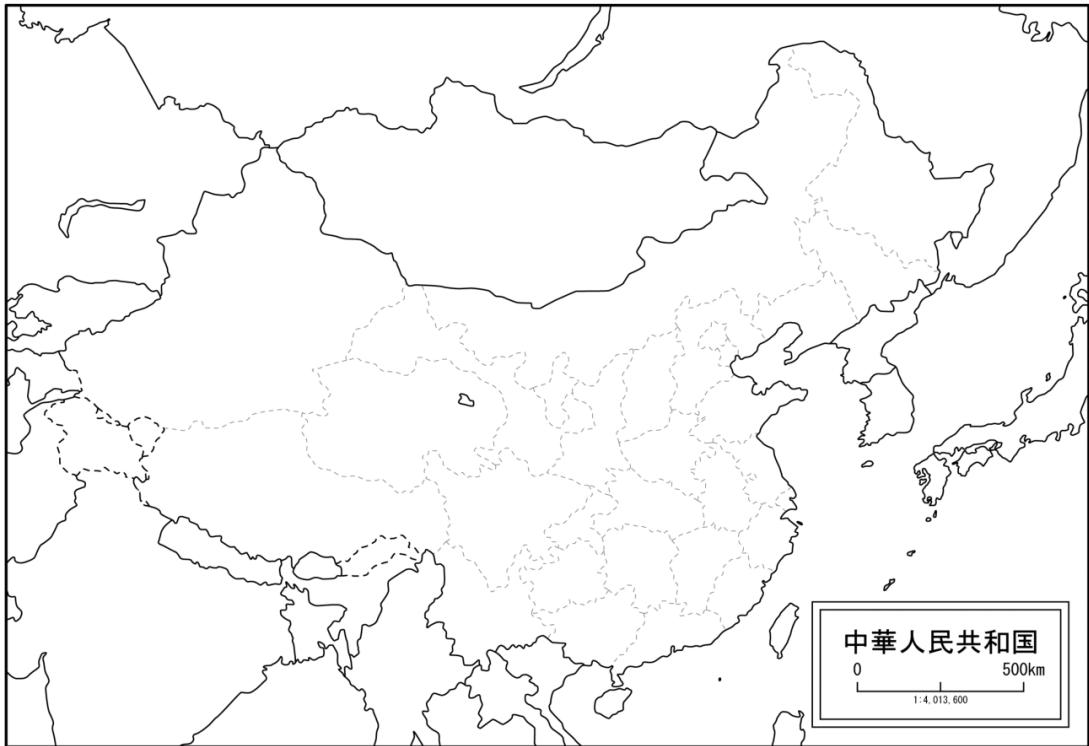
1958年 人民公社設立。 行政、教育機能を持つ農村組織。

3

新・資本主義へ －社会主義国脱出－

1978年 経済改革・対外開放政策に転換。国有企業の民営化、農家の自由化

2001年 世界貿易機関（WTO）に加盟、GDP世界第2位へ



1

西高東低の地形 －内陸と沿岸部－

西部：ゴビ砂漠、タクラマカン砂漠、チベット高原、テンシャン山脈

東部：トンペイ平原、華北平原、黄河、長江、東部沿岸に集中する人口



中国の地形の特徴といえば「**西高東低**」ですね。西部は標高が高く高原や砂漠が多くみられますね。それに対して東部沿岸は平原が多くみられます。そのため中国の人口は東部沿岸に集中し、大都市も多く形成されています。

だから主要な都市（北京、上海、香港など）は東部に多いんだね。広い平野もあるし、沿岸もあるから外国との交易に便利だったのかな？



その通りですね。全人口14億人のおよそ9割は東部に住んでいると言われています。そのため人口移動を制限する政策なども取られていますが、最近では西部の開発も進み、資源の採掘なども行われています。



西部の方も開発が進んでいるんだね！**青蔵鉄道**で東西を結んだりして、西部の資源を届けやすくしたり、人の交流を活発にしたり中国もどんどん変化しているんだね！



2

社会主義国家　－中華人民共和国－

1949年 中華人民共和国建国。 計画経済を中心とした国家統制。

1958年 人民公社設立。 行政、教育機能を持つ農村組織。

社会主義国家時代

1949年

中華人民共和国建国

毛沢東率いる共産党によって、社会主義国家としての道を歩み始める。

－計画経済－導入

政府が製品の生産案等を計画し、その案に従って企業や農民が労働する経済

1958年

－人民公社－設立

行政、教育などの機能を持った農村組織。集団で農業や工場労働を行つた。

しかし…

社会主義体制崩壊へ

生産意欲の低下

生活水準の停滞



中国が社会主義国家の道を歩んだ理由はなんとなくわかったけれど、**なんで社会主義体制が崩壊しちゃったのかな?**みんなで農業やったり、工場で働いたりして協力してそうなイメージなのに？

様々な理由があるのですが、私は**格差の拡大**だと思っています。社会主義体制では「**平等**」が重んじられる傾向にあるのですが、**人民公社の恩恵を受けやすい地域と受けにくい地域**があったのです。



あ！もしかして都市に近いとか、農業に適しているとかかな？平等を謳っていても地形、環境の差はどうしても生じちゃうもんね。

その通りですね。そうした国掲げる目標との齟齬や、なかなか伸びない生産力、向上しない生活水準など、いろいろな要素があって崩壊になつたようです。でもその経験があつてこそ、今の中国があるんですよ。



3

新・資本主義へ －社会主義国脱出－

1978年 経済改革・対外開放政策に転換。国有企業の民営化、農家の自由化

2001年 世界貿易機関（WTO）に加盟、GDP世界第2位へ

新・社会主義へ



中国がこんなにも大きく成長した理由って何かな？50年ぐらいでものすごく大きく変化したよね？

やはりグローバル化の影響は大きいでしょうね。国土も大きく（面積：世界4位）、資源も豊富で人口も世界一なので、生産力は非常に高いです。ですので海外の企業が中国に来やすかったと思います。



中国で生産すればコストの面で安くすむもんね。しかも作った製品を中国の人が買ってくれば、一石二鳥だ…！

中国で安く作って、中国で販売する。海外にとってもメリットですが、中国にとっても海外企業が多く誘致できるため大きなメリットでした。こうして得た外貨でさらなる発展を遂げているんですよ。



中国の地誌② 人口問題

1

多民族国家 －漢民族と少数民族－

漢民族：人口の9割 55の少数民族：人口の1割
チョワン族、モンゴル族、ホイ族、ウイグル族、満州族など

2

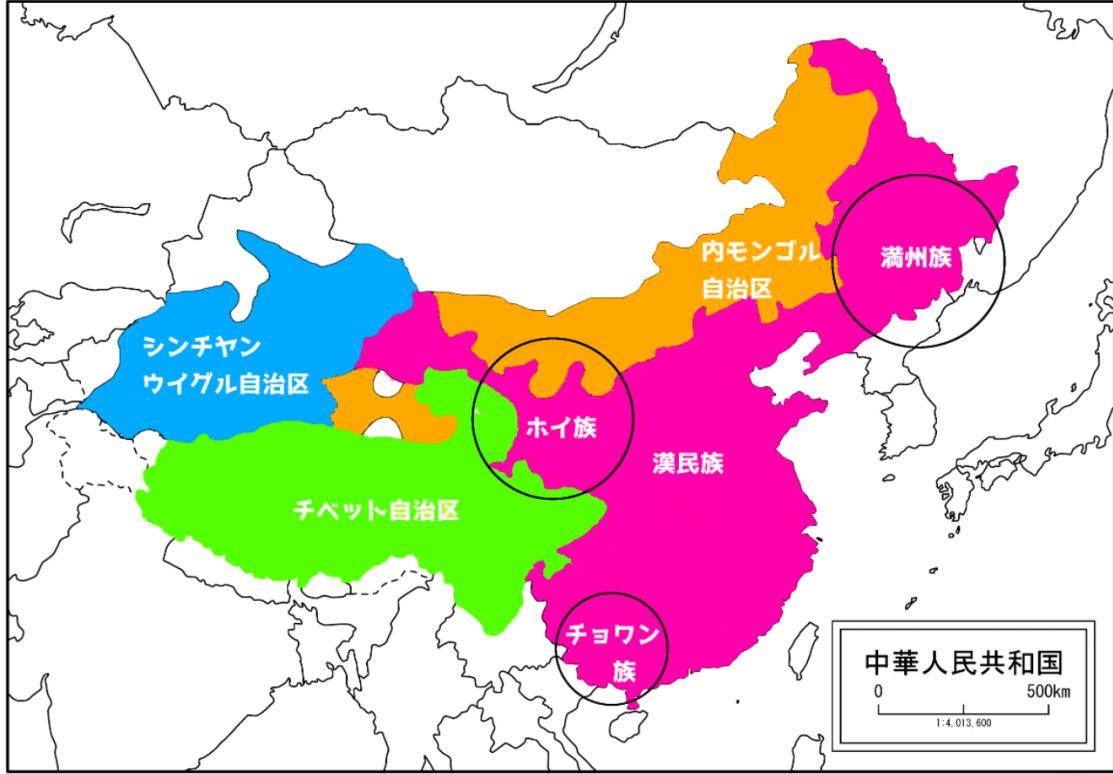
人口問題・対策 －世界1位の人口－

約14億の人口（世界の約5分の1）
1970年代末 一人っ子政策実施

3

人口問題・現在 －超高齢社会到来－

一人っ子政策による課題（男女比率、黒孩子、小皇帝、少子高齢化など）
2020年 高齢社会 2050年 超高齢社会へ

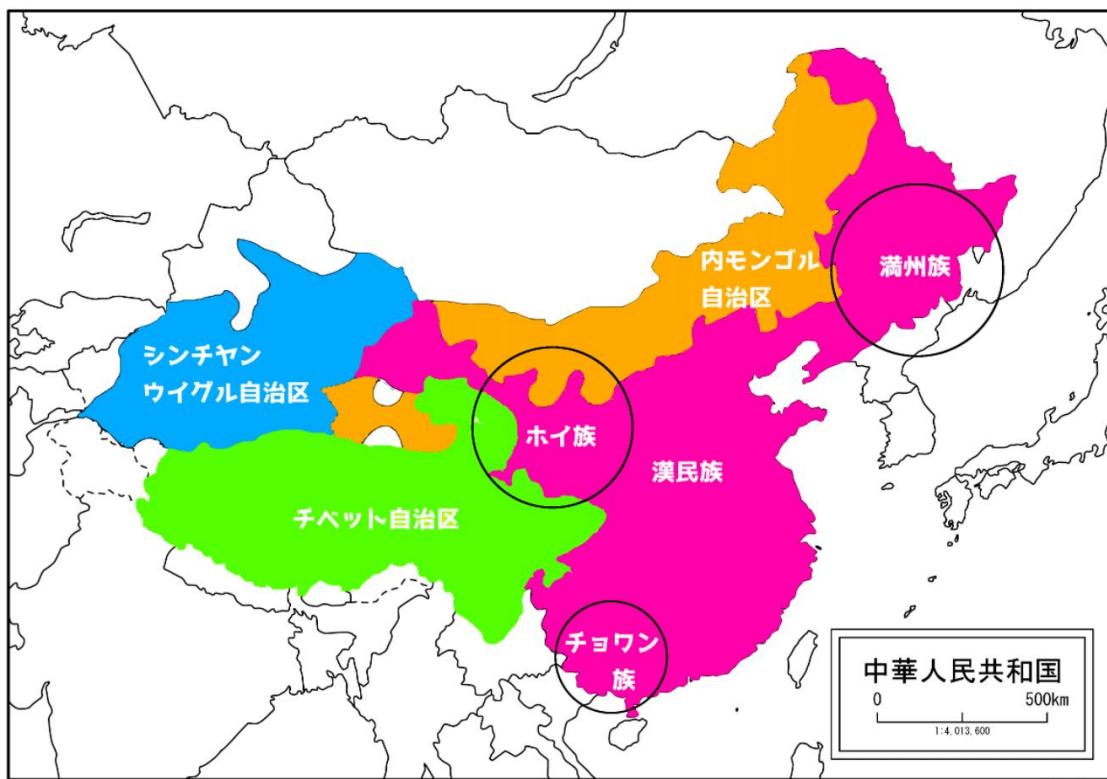


1

多民族国家　－漢民族と少数民族－

漢民族：人口の9割　　55の少数民族：人口の1割

チョワン族、モンゴル族、ホイ族、ウイグル族、満州族など



チベット族

分布：チベット自治区、スーアーチュウ省、チンハイ省など

特徴：チベット仏教を信仰。

歴史：1950年に中国軍がチベットに進駐。チベットによる抵抗運動。

1959年に大規模な武装蜂起。ダライニラマ14世がインドに亡命

ウイグル族

分布：シンチヤンウイグル自治区

特徴：イスラーム教を信仰。ウイグル語(表記体系はアラビア文字)使用。

歴史：中華人民共和国建国以来、対立状態にある。

中国からの自立を目指すも、武力弾圧を加えられている。

モンゴル族

分布：内モンゴル自治区

特徴：キリル文字、モンゴル文字を使用。

歴史：元朝を築いたモンゴル国と同じ民族。

課題

①少数民族の自治権はあるが、民族の分離権や自決権は否定されている。

②身分証明書に少数民族であることが記載される。

③それによって婚姻、就職、引っ越し等でトラブルも生じる。

2

人口問題・変遷 －世界1位の人口－

約14億の人口（世界の約5分の1）

1970年代末 一人っ子政策実施

人口

14億（世界の5分の1）

1950年代は5～6億だった人口
が、現在の14億人まで増えた経緯
を学ぼう。

1949～
1957年

人口増加期



1958～
1961年

人口減少期



1962～
1971年

人口増加期



1972～
2015年

人口抑制期

中華人民共和国建国時に婚姻推奨政
策として、出産奨励策が行われてい
た。また社会も安定していた。

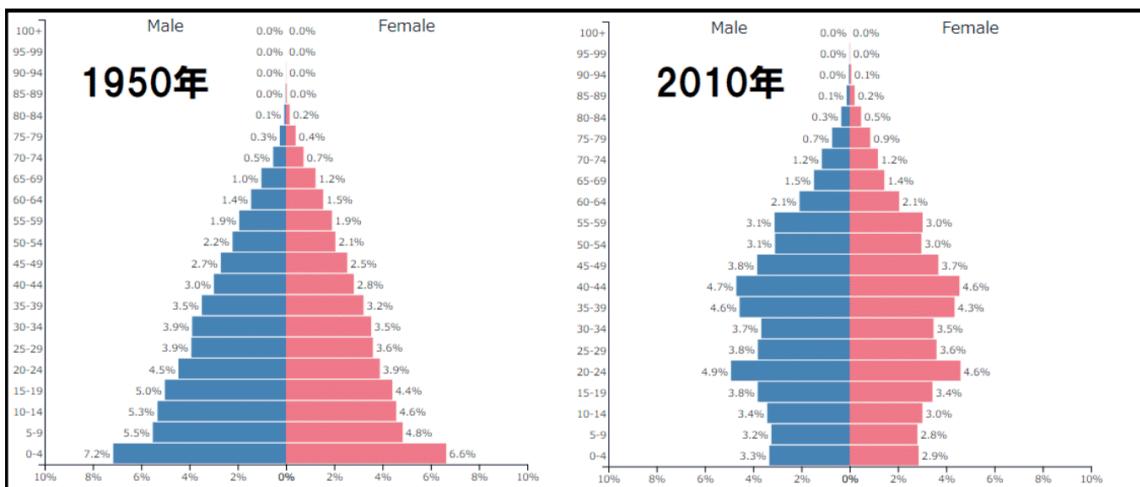
大躍進政策の失敗と自然災害が続
き、死亡率が急上昇した。

多産少死に移行した時期でもあり、
人口が増加した。文化大革命の時期
でもある。

1979年以降「一人っ子政策」に
代表される産児制限政策が開始され
る。

人口ピラミッド

※参考：Population Pyramid



1950年の人口構成を見てみると、発展途上国によく見られる多産多
死の富士山型の人口ピラミッドが見られる。

2010年になると少産少死のつぼ型の人口ピラミッドが見られる。し
かも社会の労働やとして活躍する15～64歳の生産人口年齢の割合が高
い（人口ボーナス）。これは経済発展に有利に働き、中国の経済成長の要
因の一つになっている。

3

人口問題・課題 －超高齢社会到来－

一人っ子政策による課題（男女比率、黒孩子、小皇帝、少子高齢化など）

2020年 高齢社会

2050年 超高齢社会へ

1979年

一人っ子政策 開始

- ①夫婦一組につき子供は一人
- ②許可なしの出産には罰金
- ③従わない場合、処罰や解雇

一人っ子
課題

- ⇒ 一 男 女 比 率 一
- ⇒ 一 黒 孩 子 (ヤミ子) 一
- ⇒ 一 小 皇 帝 一

農村などで「跡継ぎは男」「働くのは男」などの意識が強く、男子を望む傾向があった。

戸籍のない子どもが出現。罰を逃れるため、出生届を出さない親がいたため。

過保護に育てられた子供を揶揄する言葉。十分過ぎる衣食住や教育を施されたと言われる。

2015年

一人っ子政策 廃止

- ①跡継ぎ問題が深刻になった。
- ②年齢別人口バランスに偏りが生じたため。（少子高齢化）

2020年代

高齢社会へ

老人人口14%以上の社会へ
2024年を目途にインドが中国を抜き、人口世界1位へ

2050年代

超高齢社会へ

老人人口21%以上の社会へ
65歳以上の高齢者の割合が、14歳以下の人口を上回る。

一人っ子政策のポイントは①人口の急増に歯止めをかけることができた。②その反面、出生率の減少のため急激な高齢化をもたらしたところです。どんな政策にも光と影があり、その両方を学習する必要性がありますね。



一人っ子政策を実施したから、人口が減っていると思っていたよ。用語の意味だけじゃなくて理論や、実施後どうなったのかも学ばないとね。

その通りですね。ちなみに2016年からは「二人っ子政策」が実施されたのですが2016年の出生率は1.29、2017年は1.24と低水準で、これは2001年時点の1.34よりも低く数値です。政策ってうまくいかないことが多いんですよね。



中国の地誌③ 農業と食文化

1

農業を南北に分ける山脈と河川

チンリン山脈とホワイ河の位置が年間降水量1000mmの等量線と一致する。
この線を基準に北部は畑作（小麦）、南部は稲作と農作物が異なっている。

2

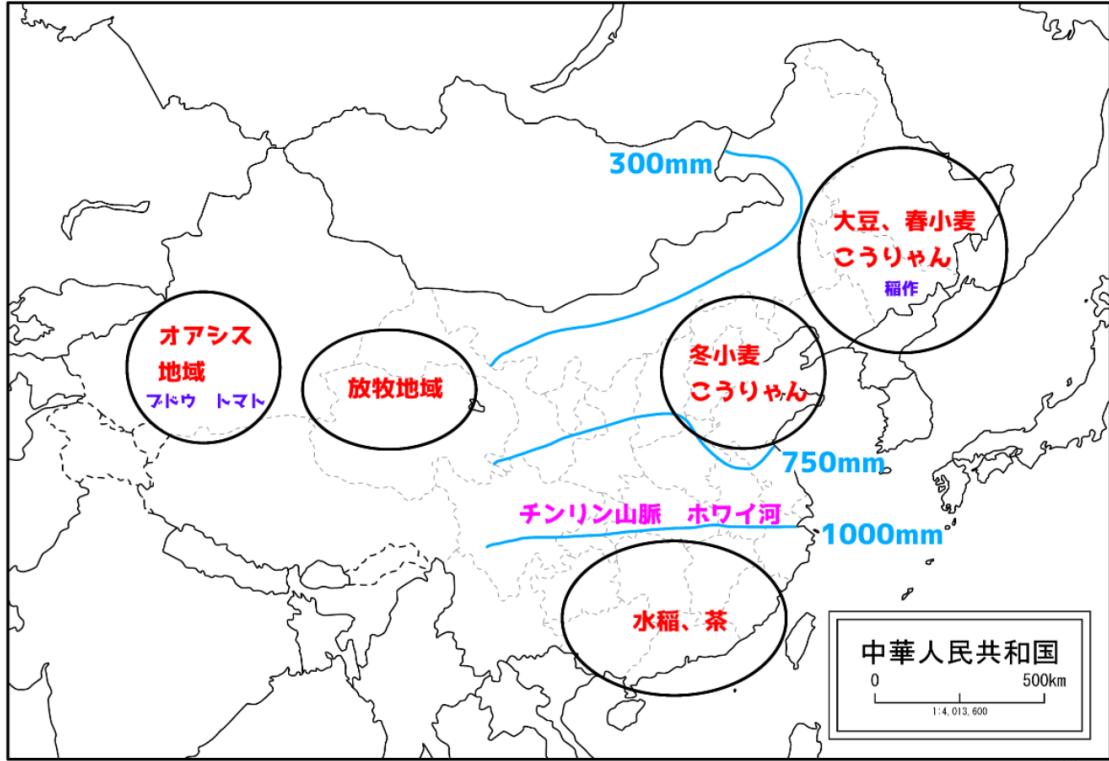
特色豊かな食文化－中華料理－

中華・華南地域 溫暖で降水量が多い（稻、茶など）
華北・東北地域 降水が少なく寒さが厳しい（小麦、こうりやんなど）

3

農業の変化と課題

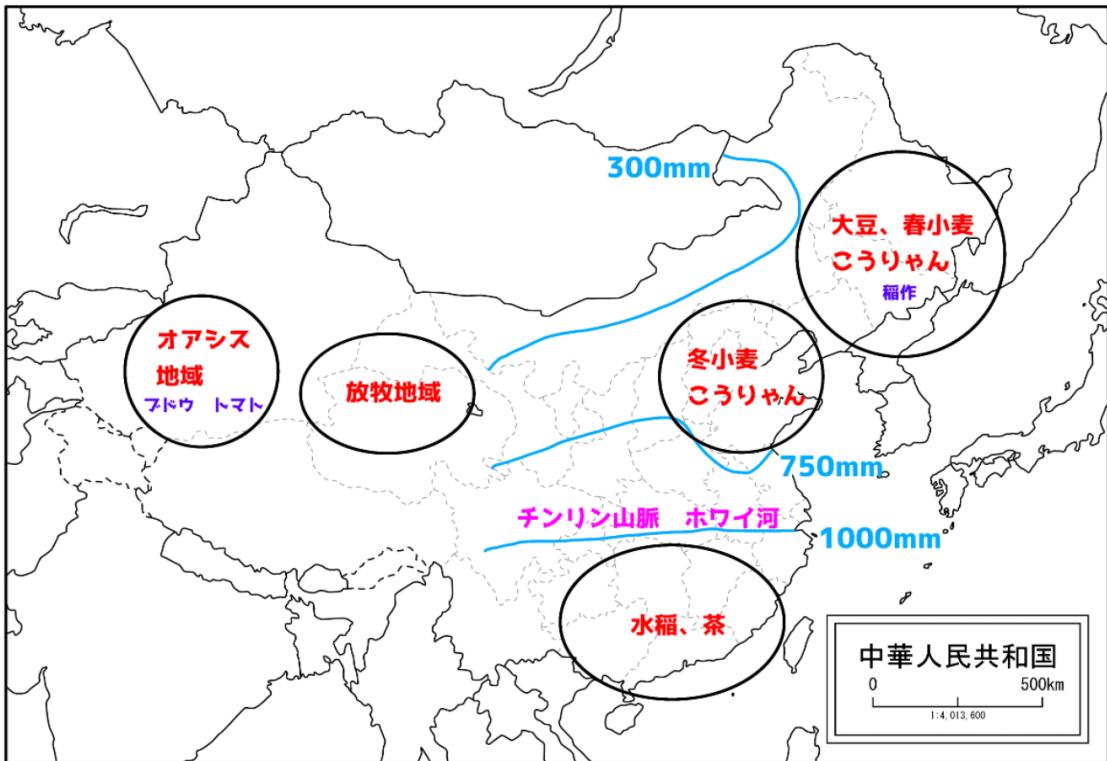
1980年代 人民公社解体 → 農業の自由化（個人経営）へ
2000年代 食料自給率の向上、近隣諸国への食糧輸出 課題：食の安全性



1

農業を南北に分ける山脈と河川

チンリン山脈とホワイ河の位置が年間降水量1000mmの等量線と一致する。この線を基準に北部は畑作（小麦）、南部は稲作と農作物が異なっている。



中国の農業で最も重要なのは**チンリン山脈とホワイ河**だ。この山脈と河川が**年間降水量1000mm**の等量線と一致するため、北部は**小麦**、南部は**稲作**と作物が変化するんだ。



降水量によって作物って変化するもんね。南北はわかったけれど、東西はどうなのかな？東部は降水量多くて農業が盛んみたいだけれど？



西高東低の地形ゆえ、西部は乾燥地域も多い。だからオアシス農業や放牧も多いが、最近では灌漑を利用した**加工トマト**や**ブドウ**の栽培も多いな。ちなみに東北地域で塞さに強い**稲作**を栽培するなど、中国の農業も変化しているな。



自然環境に適した農業だけじゃなくて、技術力の向上、社会・食文化の変化とか色々な要素によって農業も変わってきているんだね。

2

特色豊かな食文化 －中華料理－

中華・華南地域 溫暖で降水量が多い（稻、茶など）

華北・東北地域 降水が少なく寒さが厳しい（小麦、こうりゅんなど）



中華料理といっても様々な形態があります。各地域を代表する農作物や、環境によって料理も変化するんですね。例えば四川料理は盆地に位置するため湿度が高く、風土病防止のために辛い料理が生まれたと言われています。



この前中華料理屋さんに行ったとき、「四川」の意味がわからなくて「四川麻婆豆腐」食べてヒーヒー！してたもんね。各地域の料理の特徴を知らないから、あんなことになるんだよ。



あれは！わかっていたのですが…思ったよりも辛くて…そんなことよりも！華北は寒いためカロリーの高い小麦料理が多いことや、河川や湖沼、海が近い上海料理は魚介類が多いなど、料理と地形的要因を考えることが大切なことです！



またそうやって誤魔化して。広東はゆっくりとした時間を過ごす文化とか、茶の栽培が盛んなことから飲茶（友人や家族とお茶を飲んで過ごす食事）を大事にしていることも重要なね。

3

農業の変化と課題

1980年代 人民公社解体 → 農業の自由化（個人経営）へ
2000年代 食料自給率の向上、近隣諸国への食糧輸出 課題：食の安全性

1953年

第1次5か年計画

農業の集団化開始。農村は地主制が廃止。農民は自作農になった。

1953～1956年

農業の集団化

土地や牛馬といった財産を集団が管理し、農民が共同で農作業する集団農業が広まる。

1958年

人民公社

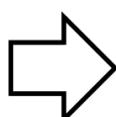
高級合作社の合併がはじまり、郷（行政機関）と一体化を進めた。これによって人民公社ができた。

理 想

- ①農業を集団で行うだけでなく、行政の機能も持っていた。
- ②工業や教育、兵士なども集団で運営していた。
- ③社会主義の理想を実現していた。

現 実

- ①何千人もの人が農業を集団で行う難しさ
- ②現実的でない生産計画
- ③生産力の低下を招く



1982年

人民公社解体

人民公社が解体され、個人農家による自由な農業経営がはじまる。

1984年

生産責任制

国に一定の穀物を納めた場合、残りの生産物は自由に売買しても良いことになった。

商品作物の生産

果実や野菜、養殖魚などの価格が高いものを生産し海外に輸出する農家も出現するようになった。

2000年代

農業大国へ

広大な土地と豊富な労働力で、近隣諸国への市場を目指した農作物の輸出を行う。

セーフガード

安価すぎる中国野菜にセーフガード（緊急輸入停止措置）を取る国も出てきた。

課 題

食の安全性

毒餃子事件や段ボール肉まん事件など、食品の衛生や安全性について不信感がある。

中国の地誌④ 世界の工場

1

工業の発達 －経済特区－

豊富な資源と労働力、多くの国有企業を保有
1970年代末に对外開放政策、経済特区・経済技術開発区を設置

2

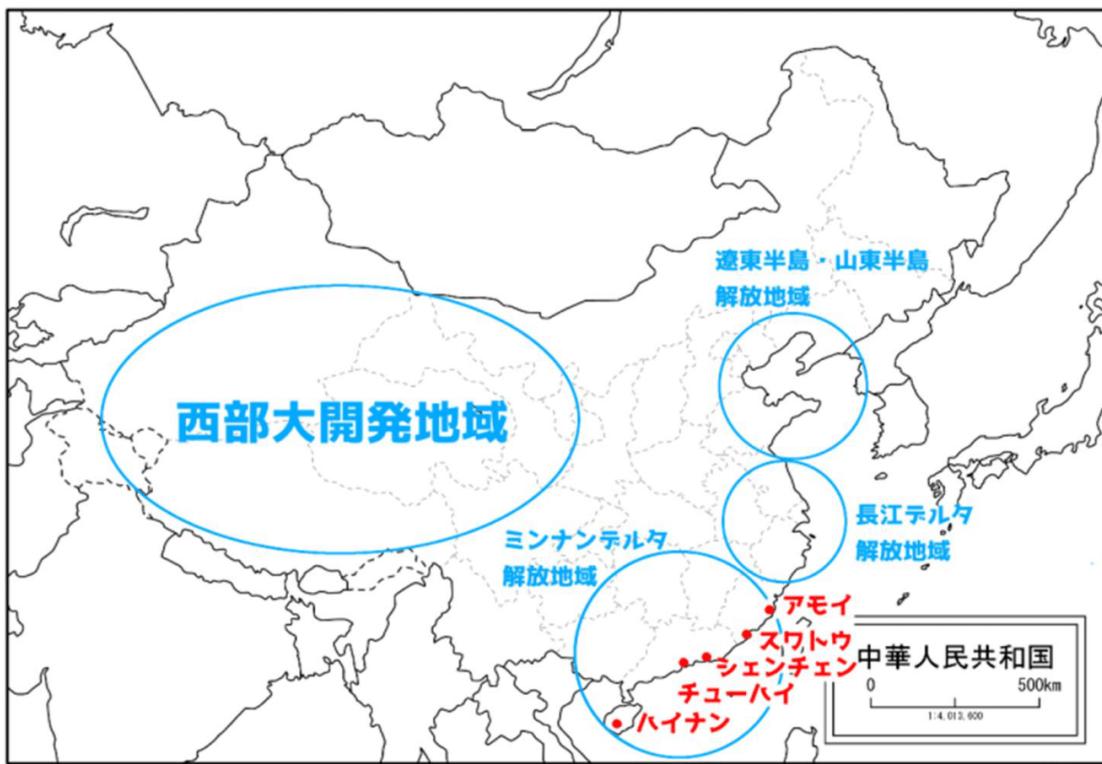
現在の工場 －世界の工場－

世界の工場：軽工業製品や家電製品、部品などの生産・輸出量世界トップ
世界中から中国への輸入拡大 → 貿易摩擦や産業の空洞化が発生

3

経済の発展 －生活の変化－

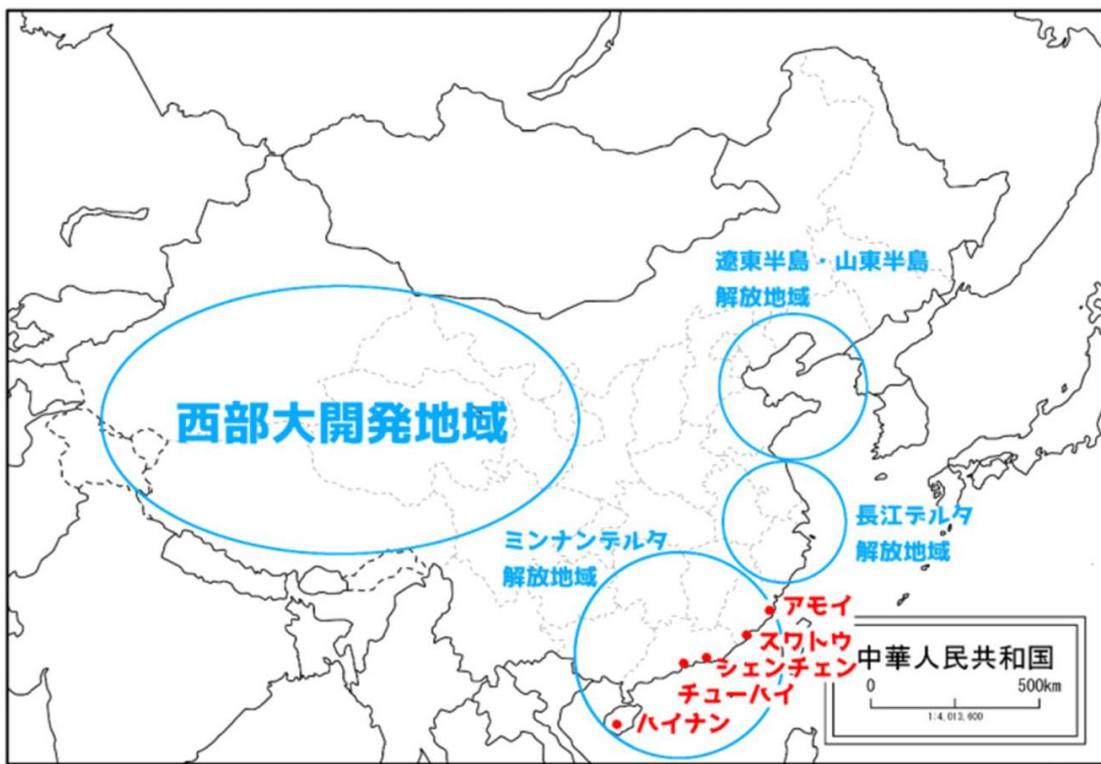
世界最大の自動車市場、テレビや携帯電話の保有率50%以上
2008年：北京オリンピック 2010年：上海万博 開催



1

工業の発達 －経済特区－

豊富な資源と労働力、多くの国有企業を保有
1970年代末に对外開放政策、経済特区・経済技術開発区を設置



経済特区は外国企業に対し税を優遇する地域だ。そのため外国企業を誘致しやすく、雇用機会の向上、技術の導入、輸出拡大の恩恵を受けやすい。他にも広大な土地、豊富な労働力は海外企業にとって魅力だな。



経済技術開発区は経済特区と同じように、税の優遇地域です。しかし面積が小さいため、外国企業用の工業地域のような意味合いがあります。



最近は経済特区のように沿岸部の発達だけでなく、内地の資源開発や工業化をすすめるために、西部大開発も行われているな。ちなみに経済特区の覚え方は「明日はシチュー杯（アスハシチューハイ）だ。



あ…明日はシチュー…杯…ですか…？ええっと、北から順番になっているので覚えやすいですね！（姉さんって、たまにボケているのか本気なのか、わからないので怖いんですね…。）

2

現在の工場 －世界の工場－

世界の工場：軽工業製品や家電製品、部品などの生産・輸出量世界トップ
世界中から中国への輸入拡大 → 貿易摩擦や産業の空洞化が発生

経済特区の設置

外国企業の税優遇

豊富な労働力

人口世界1位

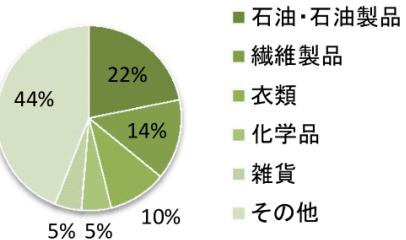
市場としての可能性

労働者から消費者へ

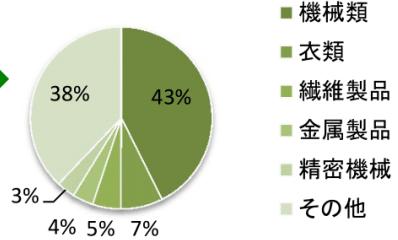
世界の工場へ

自動車、テレビ、エアコン、冷蔵庫、家電、衣服など多くの工業製品を生産する国へ

1984年 249億ドル



2016年 2兆976億ドル



たった30年ぐらいすごい成長だね！金額もすごいけど、輸出している製品も繊維製品や衣類から、機械類へと大きく変化しているね。世界の工場と呼ばれるだけのことはあるねえ。



ですがその反面、欧米諸国は安価な中国製品を大量に輸入していましたため、国内の産業に悪影響をもたらすことになりました。結果として中国の工業製品は貿易摩擦の原因になってしまったんですよ。



そっかあ…欧米諸国は安価な中国製品を買うけれど、中国はあまり買わなかつたりしたのかな？貿易って難しいね。でも安く値段で工業製品が買えるって良いことじゃないの？



良いことではあるのですが、自国の製品が売れなくなってしまったり、自国の工場を人件費や税の安い国へ移動させることで「産業の空洞化」が起きてしまったりと、問題はあるんですよね。貿易のバランスを考えることや自国の産業を、どうやって守っていくかが今後の課題だと思われます。

3

経済の発展 －生活の変化－

世界最大の自動車市場、テレビや携帯電話の保有率50%以上

2008年：北京オリンピック 2010年：上海万博 開催

生活の様子

1970年代末

家電製品は庶民のあこがれ

住居環境

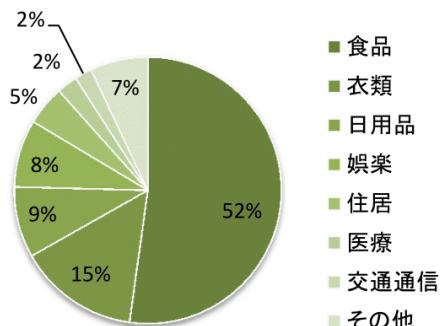
2010年代末

テレビや携帯電話の
保有率50%以上

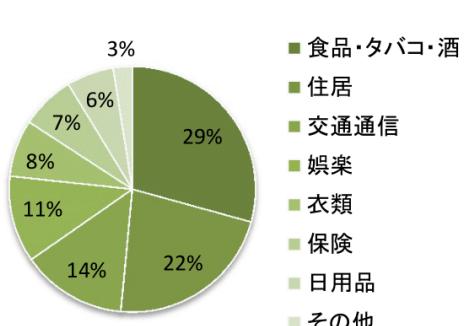
8割以上が農村に住む

都市に住む割合が5割以上

一人当たりの支出
673元【1985年】



一人当たりの支出
23079元【2016年】



工業の成長とともに生活も大きく変化しちゃったね。あこがれだった家電製品も、当たり前のものになってるもんね。住んでいる場所も都会って人が多くなってるしね。

一人当たりの支出額も4倍？…いや、40倍！？になっているよ！これはすごい伸びだね！娯楽とか交通通信の割合も高くなっているし、生活に余裕が出てきた証拠だね。



2008年には北京オリンピック、2010年には上海万博も開催されて、中国の成長はものすごいことになっているね。街の様子もどんどん高層ビルが建設されて、昔とは違う景観をしてるもんね。



なんでこれだけ早い成長をしているのかな？やっぱり経済特区とか工業の成長が著しかったからかな？他にも理由がありそうだね。でも工業の発展と経済は密接に関わっていることはわかったよ！



中国の地誌⑤ 工業の課題

1

都市の環境問題 －PM2.5と黄砂－

エネルギーの8割を石炭火力で賄っている → 大気汚染へ
工場や自動車の排ガス等からの汚染物質 → PM2.5問題へ

2

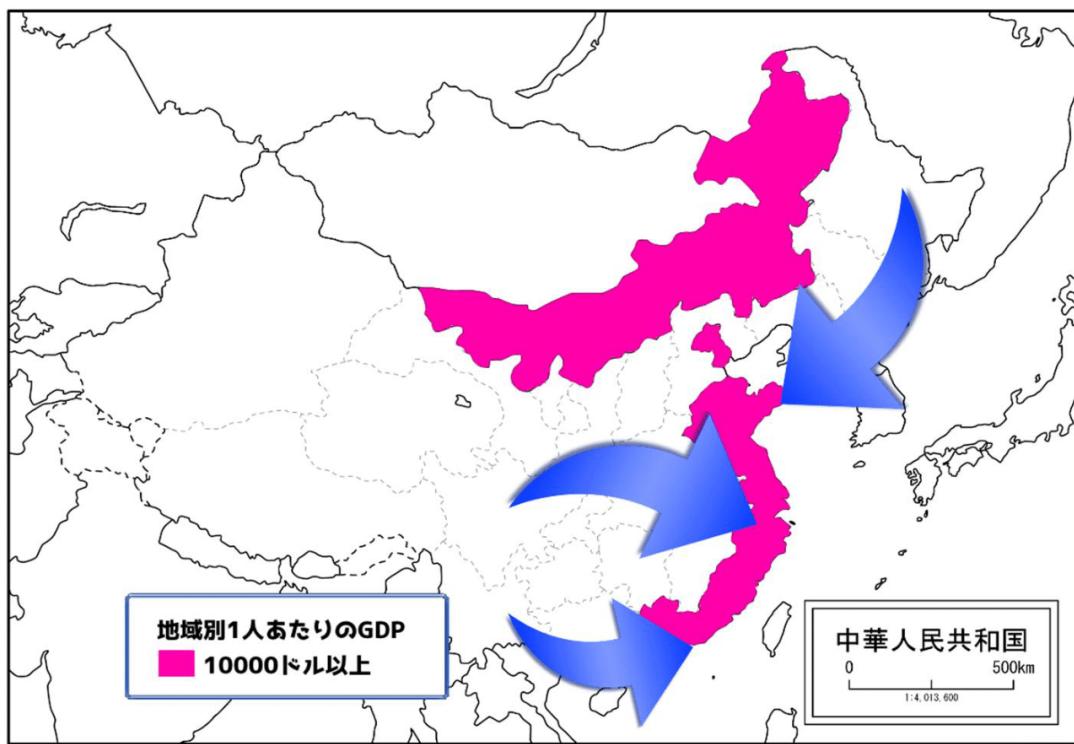
都市への人口移動 －経済格差－

沿岸部と内陸の経済格差が拡大 → 民工（出稼ぎ労働者）が問題に
戸籍制度を整え移住に対する制限を行う

3

西部大開発 －格差解消の政策－

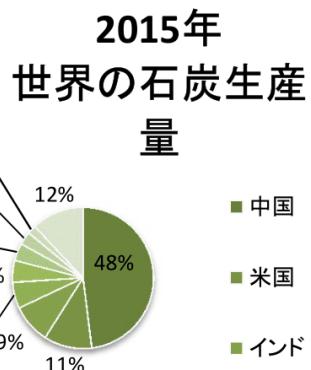
2000年 西部大開発（四川省を中心に、鉄道、道路、工業団地などを整備）
内陸部と沿岸部の交流活発化へ → 経済格差を縮める



1

都市の環境問題 －PM2.5と黄砂－

エネルギーの8割を石炭火力で賄っている → 大気汚染へ
工場や自動車の排ガス等からの汚染物質 → PM2.5問題へ



自動車
石炭
の火
排ガス
力発電
大気汚染
PM2.5
黄砂



大気汚染

PM2.5

黄砂

砂漠地域から吹く砂塵

◇ポイント

石炭からは硫黄酸化物、排ガスから窒素酸化物が排出され、大気汚染の要因となっている。

日本への影響

日本にもPM2.0問題や、黄砂による砂の被害など



中国が経済発展していく反面、環境問題が表面化してきたな。経済が良くなるにつれ、たった数年で石炭火力発電の消費量が2倍以上にもなり、環境に対する負荷が増えたのが大きな原因だな。



経済が発展するところこんな問題もあるんだねえ。中国が石炭をいっぱい使うのは、グラフでわかるように生産量が多いからなのかな？世界の半分ぐらいを生産しているとは思わなかったよ！



しかしこの石炭消費は他国にも影響を与えるのが問題だな。燃料価格の高騰だけでなく、大気汚染（PM2.5）が海を越えて海外へ悪影響を与えてるな。特に日本は中国のPM2.5が確認され、環境問題となっている。

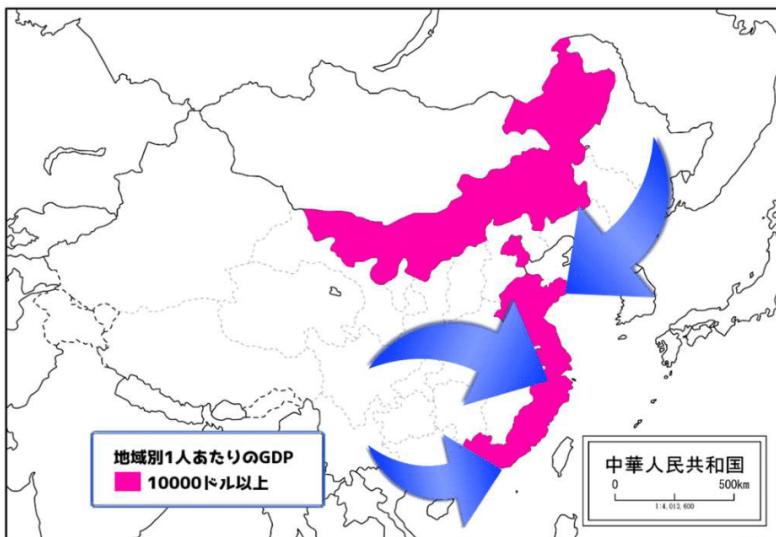


他の課題を他人事にせず、自国の問題として考えなきゃね。特に日本の近隣である中国の課題は、日本にも経済的、環境的、様々な要素で関わってくるから注意だね。

2

都市への人口移動 －経済格差－

沿岸部と内陸の経済格差が拡大 → 民工（出稼ぎ労働者）が問題に
戸籍制度を整え移住に対する制限を行う



民工

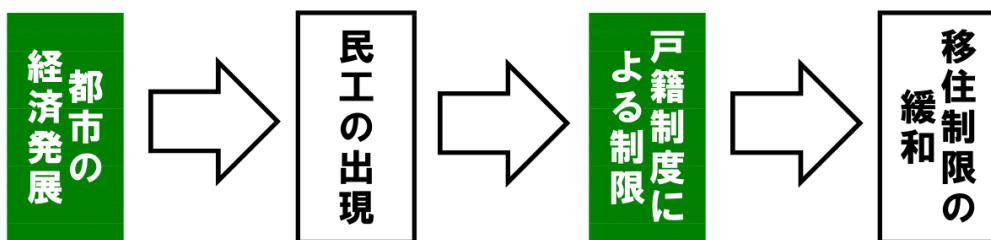
農村から都市に
出かけて就労す
る、出稼ぎ農民の
こと

民工潮

「民工」が都市
に
大量流入する様子

戸籍制度

農村から都市に行
く民工を制限



図を見てみると沿岸部とか、モンゴル周辺の地域のGDPが高いね。
だからそれに合わせて、働きに来ている人が多いのかな。働いてくれる人が増えることは良いことなんじゃないの？



労働力が増えることは良いことではあるのですが、増えすぎて
しまったため「住環境の悪化」「スラムの出現」「地価の高騰」
など都市問題が発生してしまうのです。



なるほどね！いっぱい働きに来てもらうことで生じる問題もある
んだね。でも働きたい人がいるのなら、働かせてあげればいいのに
ね。経済格差の問題もあるんだし。

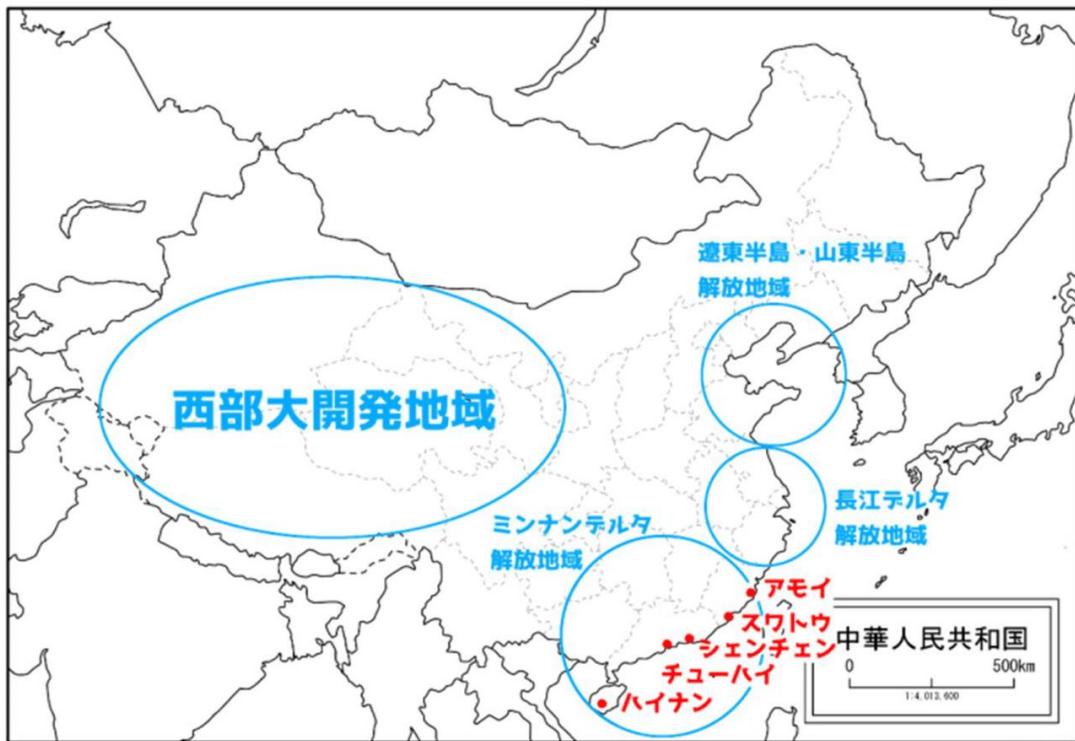


なので最近は緩和する方向になっているのです。かつては都
市人口率が10%程度だったのが、50%を超えるようになっ
てきました。経済格差もこうやって回復していくといいですね。

3

西部大開発 ー格差解消の政策ー

2000年 西部大開発（四川省を中心に、鉄道、道路、工業団地などを整備）
内陸部と沿岸部の交流活発へ → 経済格差を縮める



1990年代以降、経済格差問題が深刻化してきたので2000年に
入って始まったのが「**西部大開発**」です。「鉄道の敷設などの公共事
業」「教育などに対する補助」を行いました。



これは当時、西部地域は主要となる産業もなく自主財源を確
保することも厳しかった。だから中央政府からの支援を頼んだ。
しかしそれは中央政府の影響下に置かれることを意味していた。



いわゆる西部の地方語（民族語）ではなく、北京語や廣東語など
の中国語を学校教育で教えるなどの問題も発生していますね。



インフラ設備が整ったり、学校教育が普及したりと良い面も
あったが、中央政府の圧力が増大するなど政治的、教育的面で
も問題はあるな。このバランスをどうとるかが今後の課題だな。